

読書の秋、食欲の秋 その3

流鏝馬の季節です。

飯野八幡神社は、社伝によれば、源頼義が前九年合戦後の康平6年(1063年)に京都石清水八幡宮を勧請したといえます。

文治2年(1186年)に関東御領好嶋荘の総社として、源頼義の命により本社石清水より御正躰を奉じて、岩城郡飯野郷(村)の赤目崎見物岡(現在のJR常磐線いわき駅北側の高台)へ奉祀したそうです。

浜通り南部でも最大級の神社であり、岩城氏や磐城平藩主など当地を本拠地にした権力者たちから崇敬を受けてきました。

しかし、関ヶ原合戦後に岩城氏は追放され、代わって徳川譜代の鳥居忠政が入ると、慶長7年(1602年)に現在地である八幡小路(福島地裁いわき支部の近く)に飯野八幡宮は移設され、移設後の飯野八幡宮跡地に磐城平城が建設されました。

なお、安藤氏が磐城平藩主だった時期(1756年 - 1868年)には、八幡小路に藩校施政堂が立地していたそうです。

八幡神社の例祭は8月14・15日に執り行われていましたが、明治40年からは太陽暦の9月14・15日となりました。

近年では、9月15日の例大祭直前の土・日曜日に古式大祭及び流鏝馬神事が執り行われます。400年も続いているこの流鏝馬の神事は現在の競馬と同じく、作占いのために行われたものだと言われています。

縁起物として扇子や生姜を撒くことから、別名生姜祭りとも言われています。

9月になると、八幡神社の歩道には、しめ縄が張り巡らされます。氏子の方々が、日曜日の午後に、八幡小路沿いに岳筒を5メートル間隔ほどに建てたのち、縄を張り、締めを入れていくのです。

例年9月14日から、15日にかけて、流鏝馬が行われました。

奉祝神輿渡御が行われ、午後3時ぐらいまで、馬に乗った武士が、平地区内を巡航します。今年は、9月7日(土)・8日(日)に八幡小路では、飯野八幡宮例大祭の流鏝馬神事が行われたようです。

勇壮な騎士が弓矢を放ち、馬場を駆け抜ける流鏝馬神事や浦安舞の奉納などが執り行われたのです。

